

関連文書:

主文書

- **権利に関する声明(Statement of Rights)**
精神保健法に基づく患者の権利

案内書

- 患者の権利に関する手引き
- 精神保健医療に関する事前指示書の案内と作成用紙
- 指定補助人に関する案内と指名手続き用紙

ファクトシート

- 患者の権利
- 指定補助人の役割
- 家族、介護者、その他補助人の権利
- 医療に関する事前指示書および強制でない治療に関する案内

パンフレット

- 医療に関する事前指示書
- 患者の権利

上記の文書の閲覧や詳細な情報の入手は下記のサイトをご利用ください:

www.health.qld.gov.au/mental-health-act

© クイーンズランド州(クイーンズランド保健省) 2017
creativecommons.org/licenses/by/3.0/au

QH841 0117

精神保健法 2016
(Mental Health Act 2016)

患者の 補助人

(Support persons)



補助人の役割

精神保健法2016は、患者の家族、介護者、その他補助人の重要性を認めています。

補助人の役割には以下が含まれます:

- 治療や介護を受けている患者と連絡をとりあう
- 治療や介護に関する意思決定に患者と共に立ち会う
- 治療や介護、回復について随時、正確な情報を得る
- カウンセリングやコミュニティーケアなどの、患者のための支援サービスを手配する

指定補助人

病状が悪化し非任意の患者となった場合には、精神保健法2016に基づき、1人または2人の人物を指定補助人に指名することができます。

指定補助人は:

- 当該法に基づき患者向けに発行されるすべての通知文を本人に代わって受領します
- 治療や介護に関して、担当の治療チームと守秘事項を協議できます
- 精神疾患審理の審問で、患者の支援や代弁ができます
- 患者が重い罪を犯したとして起訴される場合、精神鑑定を依頼できます

患者は、精神保健サービス部門または精神保健法2016のウェブサイトから入手できる案内と指定補助人申請用紙を使って、指定補助人を指名することができます。

情報を得る権利

当該法は、下記の場合を除き、医師の、補助人に対する重要事項の協議説明責務を定めています。

- 患者本人がそれを望まない場合(その際、本人に意思決定能力があること)
- 指定補助人が正当に対応可能な状況にない場合
- そうしたやりとりが、患者本人の健康と安全を損なうおそれがある場合

また、患者の介護や治療上必要であったり、補助人が患者の健康と安全に深く関与している場合、医師は当該補助人と守秘情報を協議することもできます。

権利の声明

権利の声明は、精神保健法2016に基づく患者とその補助人の権利に関する概要です。

権利の声明の写しは、精神保健部門の職員に依頼し、入手することができます。

そのほかの権利

補助人:

- 患者と面会できる基本的な権利
- 患者と連絡を取り合う基本的な権利
- 患者に代わってセカンドオピニオンを依頼できる

補助人の権利についてもっと詳しく知りたい場合はどこに尋ねればいいのか?

以下をご利用いただけます:

- 州の精神保健サービス部門に配属されている患者の権利に関する独立アドバイザー (Independent Patient Rights Adviser)
- 精神保健サービス部門の職員
- 精神保健法2016のウェブサイト